

女子総合大学として 2025年4月に理工学部を設置。 自分らしく幸せに生きる オーナーシップを育みたい

学校法人安田学園
安田女子大学
理事長

安田 馨



を挙げて理系転換が叫ばれるなか、本学は2025年4月に理工学部を設置し、8学部18学科4研究科を擁する女子総合大学となりました。他の女子大学にはなかった「理工学部」として期待を集め、順調にスタートをきったところです。

依然としてジェンダーギャップが大きい日本社会において、女性も人生の節目で一歩引いた選択を強いられることが少なくありません。また、場や状況によって一人称や敬語を使い分ける日本語文化の下にあつて、ありのまま

の自分を表現できる環境に身を置く価値は計り知れないと感じています。よく女子大学はリーダーシップが育つといわれますが、それ以上に育みたいのはオーナーシップです。人に合わせるのではなく、自分はどうしたいかを常に意識する。その意志さえあれば、どんな選択をしても自分らしく生きられるでしょう。こうした当事者性を育む取組は、安田女子中学校・安田女子高校でも積極的にを行っています。例えば、生徒主体で校則を見直すルールメイキング。与えられた決まりに従うのではなく、また過去を否定するのではなく、皆が幸せに過ごすにはどうしたらいいかを考え、納得いくまで対話し、変えるべきことは変える。私自身、かつて在籍したNPOカタリバと始めたこの活動は今、全国に広がっています。

その根底にあるのは、「優しく剛く」という受け継がれてきた学園訓です。一方で、激動する社会においてさまざまな決断を下す際の共通の指針も必要ということで、幼稚園から大学院まで大勢の教職員と対話の機会を設け、今春策定したのが「教育の力ですべての人が幸福に生きられる社会を実現する」というパーパスです。安田学園は、単に生き残るために存在している教育機関ではありません。また、社会のニーズに応えるだけではなく、どう貢献できるかを考え、時に先導する気概をもち続けています。例えば、転出超過が深刻な広島の問題を解決するため、地域のキーパーソンとの対話イベントをこの夏主催しました。学生に対しても、社会と接点を持ち刺激を受けようという機会を増やしています。

一方で本学には、式典や行事の際に着用する制服の伝統があります。また、「まほろば教養ゼミ」という週1回のクラスルームなど、チーム・グループを意識した教育にも取り組んでいます。こうした校風や教育によって卒業時の満足度は総じて高く、就職先からも評価されています。全国的に進学先としての女子大学の人気が低迷していることは否定しませんが、入学後に良さを実感するのも本学の強みです。

今の若い人に少しでも感じている懸念は、将来を意識し過ぎるあまり、進路選択に際して失敗を恐れる傾向が強いことです。途中で進路を変更してもやり直しはきくし、むしろこれからの時代、複数の興味や専門性をもつことが強みとなります。効率や確実性を求める気持ちはわかりますが、未知の世界へ「えいや」と飛び込む思い切りの良さや、変化に対するしなやかさをもった学生を育てていきたいです。



理事長プロフィール やすだ・かおる ● 国際基督教大学教養学部卒業。桜美林大学大学院国際学研究科修了。広告代理店、大学職員、認定NPO法人カタリバを経て、2014年学校法人安田学園入職。安田女子大学事務局学長室室長、安田女子中学校・安田女子高校副校長、安田学園理事などを経て、2023年11月より現職。

大学プロフィール 1915年広島技芸女学校として創立。1966年安田女子大学開学。文学部(日本文学科、書道学科、英語英米文学科)、教育学部(児童教育学科、幼児教育学科)、心理学部(現代心理学科、ビジネス心理学科)、現代ビジネス学部(現代ビジネス学科、国際観光ビジネス学科、公共経営学科)、家政学部(生活デザイン学科、管理栄養学科、造形デザイン学科)、薬学部(薬学科)、看護学部(看護学科)、理工学部(生物科学科、情報科学科、建築学科)。広島県広島市。学校法人安田学園として幼稚園から大学院まで設置。